



年頭のごあいさつ

岡谷市長

林新一郎

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申しあげます。

また、日頃から岡谷市政に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、昨年7月の豪雨災害は、市制施行70年にして未曾有の大災害となり市民生活や経済活動に大きな影響を与えました。

お亡くなりになられました8名の皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます次第であります。また、災害直後から復旧に駆けつけていただいた6千名を超えるボランティアの方々、全国から寄せられた2億1千万円余の義援金や支援物資の数々など、暖かい励ましにより復興への勇気をいただきました。そして、このような大勢の皆様のご支援に対する感謝も、終生忘れてはならないものであります。

再びこのような大きな惨事が繰り返されないよう、国、県が巨費を投じた、砂防事業や治山事業による復旧・復興工事ははじまり、また、天竜川改修事業などが決まるなど、ハード面での対策が早期に進んだことは、市民の皆様にとって大変な安心

感につながりました。

また、「自分の身は、自分で守る」の防災の原点に立ち返ったとき、この災害で隣近所との協力や助け合いといった「地域力」がいかに発揮され、大切だったかを改めて確認いたしました。この災害での教訓や反省を糧として、今後の防災対策やまちづくりを生かしていかなくてはならないと、考えています。

岡谷市は、この災害を乗り越え、安心安全なまちを1日も早く実現させるため、新年も引き続き災害復旧・復興対策を最優先課題として位置づけてまいります。そして、「自立のまちづくり」は、「岡谷市行財政改革プラン」を着実に推進していくとともに、長期的な視点で各種施策の方向性を考え将来につながるよう、創意と工夫を凝らし、努力を重ね、市民参加による特色あるまちづくりに取り組んでまいります。

来る新年度は、「強さとやさしさを兼ね備えたまちづくり」を市民総参加によりこれまで以上に推進することを基本に、次の5つの項目、「平成18年7月豪雨災害の復旧、復興対策の実施」「安心安全に係る市民生活に密着した施策の推進」「子育て支援の充実」「工業振興施策のさらなる推進」「市民総参加のまちづくりの推進」を重点施策として事業展開を考えています。また、限られた財源を集中するため、他事務事業の思い切った見直し、選択を行い、真におこなわなければならない緊急性、必要性の高い事務事業を厳選してまいります。

災害対策や行財政改革を進めながら、一方で市民ニーズにきめ細かく対応できる行政、「強さとやさしさ」の政策推進は、市民のご意見、ご提案によく耳を傾け、市民総参加によって展開させていきたいと考えています。

市民の皆様には、パブリックコメント、市民総参加のまちづくりサロンや諏訪湖清掃など様々な機会をとらえて、岡谷市政へのより一層のご参加とご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

岡谷市にとって、災害を乗り越え夢と希望をつかむ新年のスタートにあたり、この一年の市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

